

令和元年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1. 昨年度の「改善プラン」の検証

(1) 【成果】

- ・ 3 学年では、校内の正答率が目標値を 3・0 ポイント上回り、前年度同学年の校内平均正答率に比べて改善の様子がみられる。
- ・ 2 学年では、校内の正答率が目標値を 3・1 ポイント上回り、前年度同学年の校内平均正答率に比べて改善の様子がみられる。
- ・ 1 学年では、校内の正答率が目標値を 3・9 ポイント上回り、前年度の校内平均正答率に比べて改善の様子がみられる。

(2) 【課題】

- ・ 3 学年においては「言語についての知識・理解・技能」について課題がみられる。
- ・ 1、2 学年においては「話す・聞く能力」について課題がみられる。

2. 授業改善のポイント

※改善内容に観点【関】【言】【話】【書】【読】を記入。

1 学年

- ・ 目的意識をもち他の発言、発表を聞き取り、言語に対する感覚を発達させる場をつくる。【関】
- ・ 難しい言葉を意識させ、質問、辞書を引く習慣を醸成し、言語能力を高めていく。【言】
- ・ 親しみのもてる身近な教材を取り上げ、自分の考えを表現し、他社の考えを学ばせ、意見交換の場をつくる【話】
- ・ 単元ごとに小テストを行い学習内容の理解状況を確認し、設問に対する解答力を身につける。【書】【読】
- ・ 自分の考えを円滑に分かりやすく他者に伝えることを目的として、口頭、または紙上で発表させる【話】【読】

2 学年

- ・ 共同学習の場で他の者の発言を聞き取り、言語に対する感覚を豊かにする。【関】
- ・ 意味の取れない言葉を意識させ、質問や辞書を引くことで、学習習慣の定着を図りながら、言語能力を高めていく。【言】
- ・ ワーク等を定期的に点検や小テストなどを実施し、家庭学習の習慣化を図る。【言】
- ・ 中学生として親しみのもてる身近な話題を取りあげ、自分の考え、および他者の考え方を学ばせ、意見の交換をさせる。【話】
- ・ 自分の考えた内容を他者に伝えることを目的として、口頭または紙上で発表させる。【話】【読】
- ・ 単元ごとにテストを行い、学習内容の定着を確認する。また、設問に対する解答力を身につける。【書】【読】

3 学年

- ・ 教材を選択、吟味することで、関心・意欲を高める工夫を行うとともに生徒の特性に見合った自主作成教材を活用して内容の充実を図り、力をつけさせる授業を展開する。【関】
- ・ 親しみのもてる身近な話題、教材を取りあげ、自身の考え、他社の考え方を意見交換、発表等によって学ばせ、互いの共通点、相違点等を理解させる。【話】
- ・ 単元ごとに小テストを実施し、理解度を把握するとともに、設問に対する解答力を身につけさせる。【書】【読】
- ・ 発言のとき、文章を書くとき論理的で説得力ある組み立てと内容になるように指導する。【書】
- ・ 読解において、場面、状況等に見合った読み取りかを確認させる【読】
- ・ 語意を意識し、調べようとする姿勢を身につけさせ、理解した語句を活用させる。【言】